

修了生の活躍事例

ポリテクカレッジ入校の動機

高校時代から航空機の整備に興味があり、整備を通して人の役に立ちたいと思っていました。ポリテクカレッジに入校を決めた理由は、実機を使用しての実習時間が多く、2年という短期間で集中して資格取得に向けた勉強ができるためです。

航空機整備科は1グループ5人の少人数で実習を行うため、教官が一人ひとりに分かりやすく丁寧な指導をしてくださいます。

ポリテクカレッジに入校したことで、航空機整備の土台ができ、現在の仕事にとっても役立っています。

苦手だった分野を仕事にしています

私は現在、戦闘機の計器整備員をしています。計器は学生時代一番苦手な分野でした。そのため計器整備に不安がありましたが、授業のおかげで仕組みがすんなり理解できました。

今ではとても楽しくやりがいをもって仕事をさせていただいています。

就職先企業での活躍

現在取り組んでいる業務内容

石川県にある小松基地で、F-15という航空自衛隊が所有している戦闘機の計器に関する整備、修理を行っています。



航空自衛隊 小松基地

小松基地は日本海側唯一の戦闘機部隊が所在する基地であり、我が国の空の守りを固めるため、日夜訓練に励んでいます。

整備職域では、それぞれの整備員が担当分野で活躍し、航空機の飛行安全を確保するだけでなく、最大性能を発揮できるよう昼夜を問わず一丸となって勤務しています。

航空自衛隊 小松基地 修理隊

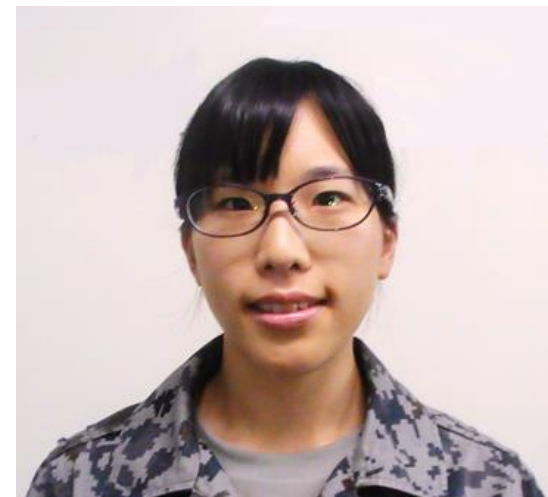
内村 春花 (22)

千葉職業能力開発短期大学校

専門課程

航空機整備科

平成30年度 修了



誰からも頼られる先輩を目指して

自衛官の主任務は国の防衛です。整備業務以外にも自衛隊に関する法律の勉強や体力測定、銃を扱う訓練を行います。もちろん、災害派遣にも職種関係なく派遣されます。

整備業務と日々の訓練の両立は大変ですが、これらに集中できるのはポリテクカレッジの経験や知識が土台としてあるためだと思っています。

これからも整備員として自衛官として頼れる先輩を目指して頑張ります！

上司からの声

整備小隊長 江頭 祐人

入隊後は、整備学校で優秀な成績を修め、他隊員の模範となっています。また、職場では自学研鑽を惜しまず、積極的に整備作業に従事しており、その前向きな姿勢から、今後の活躍に大いに期待しています。

